



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月11日

上場会社名 株式会社スポーツフィールド 上場取引所 東
コード番号 7080 URL <https://www.sports-f.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠崎 克志
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 亀田 高一郎 (TEL) 03-5225-1481
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,154	10.8	698	7.2	700	7.7	457	10.4
2024年12月期第3四半期	2,848	10.0	651	△8.6	650	△8.7	414	△10.1

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 457百万円(10.4%) 2024年12月期第3四半期 414百万円(△10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	62.62	61.59
2024年12月期第3四半期	56.35	54.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,140	2,104	67.0
2024年12月期	2,707	1,763	65.1

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 2,104百万円 2024年12月期 1,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,780	24.3	1,100	25.8	1,100	26.1	787	32.2	107.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	7,456,320株	2024年12月期	7,440,960株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	149,996株	2024年12月期	149,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	7,300,037株	2024年12月期 3 Q	7,350,303株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(収益認識関係)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えました。ただし、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクに加え、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に注意する状況は依然として続いております。

人材サービス業界においては、2025年9月の有効求人倍率は1.2倍と依然として高い水準が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時にスポーツが持つ可能性を様々なフィールドで発揮し、個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること」という経営理念のもと、スポーツ人財（※1）がスポーツを通じて培った素養を活かし、競技以外のビジネスというフィールドで輝けるよう、最適な企業と結びつけることに取り組んでまいりました。

（※1. スポーツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財。新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者。既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人。）

当社グループの主要3事業である、新卒者向けイベント事業、新卒者向け人財紹介事業、既卒者向け人財紹介事業については以下のとおりであります。

（新卒者向けイベント事業）

新卒者向けイベント事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は1,165,270千円（前年同期比10.2%増）となり、第3四半期連結累計期間の過去最高売上高を更新しました。イベント開催数は、来場型・中小規模イベントの開催数が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。企業のイベント出展ニーズが依然として強く、主に来場型・中小規模イベントの販売枠数が増加し、前年同期実績を上回りました。2027年卒向けイベントの受注進捗は、2025年9月末時点で前年同期比11.7%増と、2026年卒向けイベントの実績を上回って推移しております。

（新卒者向け人財紹介事業）

新卒者向け人財紹介事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は1,030,650千円（前年同期比8.6%増）となり、前年同期実績を上回り過去最高となりました。2026年卒のスポンナビ累計登録者数は卒業前年度9月末時点において前年同期実績を上回りました。2026年卒ユニーク紹介学生数（企業に紹介した重複しない学生数）は前年同期比で増加、ユニーク紹介企業数（学生に紹介した重複しない企業数）についても、企業の旺盛な新卒採用ニーズを取り込むことにより、前年同期実績を上回りました。2026年卒のスポンチャレ累計登録者数は、2025年卒の前年同期実績を上回って推移しております。スポンチャレの売上高は前年同期実績を上回り、新卒者向け人財紹介事業における売上高の増加に寄与しました。

（既卒者向け人財紹介事業）

既卒者向け人財紹介事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は823,985千円（前年同期比9.7%増）となり、第3四半期連結累計期間において過去最高の売上高となりました。新規登録者数は、前年同期実績を下回ったものの、ターゲティング広告の強化により有効な登録者数を確保しております。ユニーク紹介人財数（企業に紹介した重複しない人財数）及びユニーク紹介企業数はともに前年同期実績を上回りました。スポーツ関連企業に特化した就職・転職情報サイトであるスポジョバからの人財紹介案件への成約は、前年同期実績を上回り、既卒者向け人財紹介事業の売上高に寄与しました。

売上原価に関しては、新卒者向けイベント事業におけるイベント開催数及び開催費用の増加、スポンサーサービスの物品費用等により前年同期比で増加しました。

営業利益及び経常利益に関しては、成長のための投資により販売費及び一般管理費が増加したものの、それを上回る

売上高の伸長により、利益は前年同期実績を上回りました。人件費は、人員体制強化のための新卒採用社員・中途採用社員の入社により前年同期比で増加しました。地代・家賃は、既存オフィスの増床等により前年同期比で増加しました。広告宣伝費は、スポチャレ・スポナビキャリア及びスポジョバ等の更なる登録者獲得のための投資により前年同期比で増加しました。その他販管費については、人員増に伴う諸費用の増加により前年同期比で増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,154,640千円（前年同期比10.8%増）、営業利益は698,927千円（前年同期比7.2%増）、経常利益は700,398千円（前年同期比7.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は457,117千円（前年同期比10.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,140,143千円となり、前連結会計年度末に比べ432,470千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加に伴い流動資産が367,316千円増加、既存オフィスの増床に伴い固定資産が65,154千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,035,987千円となり、前連結会計年度末に比べ91,916千円増加しました。これは主に、賞与引当金及び返金負債の増加に伴い流動負債が143,209千円増加した一方、長期借入金の減少に伴い固定負債が51,292千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,104,155千円となり、前連結会計年度末に比べ340,553千円増加しました。これは主に、利益剰余金が340,461千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

株式会社リンドスポーツの新規連結及び当社の業績動向を踏まえ、2025年8月8日に公表いたしました2025年12月期通期連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年11月11日）開示いたしました「通期連結業績予想の上方修正並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

上記に記載した業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,704,249	2,236,949
売掛金	484,580	311,846
その他	70,747	77,605
貸倒引当金	△1,369	△876
流動資産合計	2,258,208	2,625,525
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	250,273	247,183
工具、器具及び備品	89,236	110,641
減価償却累計額	△122,009	△143,395
有形固定資産合計	217,500	214,428
無形固定資産		
ソフトウェア	100	-
無形固定資産合計	100	-
投資その他の資産		
敷金	198,897	203,356
繰延税金資産	32,277	95,442
その他	688	1,389
投資その他の資産合計	231,862	300,188
固定資産合計	449,463	514,617
資産合計	2,707,672	3,140,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,793	11,542
1年内返済予定の長期借入金	91,702	68,406
未払金	102,232	123,792
未払費用	143,775	138,135
返金負債	43,986	104,797
未払法人税等	133,214	174,642
未払消費税等	70,753	77,507
賞与引当金	55,748	125,772
その他	96,694	81,513
流動負債合計	762,900	906,109
固定負債		
長期借入金	67,398	16,500
資産除去債務	110,108	107,406
その他	3,664	5,971
固定負債合計	181,170	129,877
負債合計	944,070	1,035,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,650	93,696
資本剰余金	83,350	83,396
利益剰余金	1,686,971	2,027,432
自己株式	△100,370	△100,370
株主資本合計	1,763,601	2,104,155
純資産合計	1,763,601	2,104,155
負債純資産合計	2,707,672	3,140,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,848,065	3,154,640
売上原価	111,404	140,795
売上総利益	2,736,661	3,013,845
販売費及び一般管理費	2,084,665	2,314,918
営業利益	651,995	698,927
営業外収益		
受取利息	160	2,790
受取配当金	0	0
雑収入	10	18
営業外収益合計	170	2,808
営業外費用		
支払利息	1,277	1,076
自己株式取得費用	321	-
その他	134	261
営業外費用合計	1,733	1,337
経常利益	650,432	700,398
税金等調整前四半期純利益	650,432	700,398
法人税、住民税及び事業税	261,572	306,446
法人税等調整額	△25,357	△63,165
法人税等合計	236,215	243,281
四半期純利益	414,216	457,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	414,216	457,117

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	414,216	457,117
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	414,216	457,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,216	457,117
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

主要な財又はサービス別に分解した収益の情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
新卒者向けイベント売上高	1,057,373	1,165,270
新卒者向け人財紹介売上高	949,299	1,030,650
既卒者向け人財紹介売上高	751,370	823,985
その他の収益	90,022	134,734
顧客との契約から生じる収益	2,848,065	3,154,640
その他の収益	-	-
外部顧客への売上高	2,848,065	3,154,640

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、スポーツ人財採用支援事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	19,118千円	26,271千円

(重要な後発事象)

(株式取得による企業結合)

当社は、2025年9月19日開催の取締役会において、株式会社リンドスポーツ（以下「リンドスポーツ社」といいます。）の株式を取得し子会社化することを決議し、同日に株式譲渡契約を締結いたしました。なお、2025年10月1日付で当該株式を取得しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の概要

名称	株式会社リンドスポーツ
事業内容	スポーツ用品の企画販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、「日本を代表するスポーツカンパニーへの飛躍」という経営ビジョンの実現に向け、M&Aを積極的に推進しています。株式会社リンドスポーツは、30年以上の実績を持つ、スポーツ用品の企画・販売会社です。特にプロチームや全国の学校等から高い支持を得ており、この顧客ネットワークは、当社の事業と高い親和性があります。

本件株式取得により、就職支援と競技生活を同時にサポートできるようになることで、経営ビジョンの実現ならびに当社グループの企業価値向上に寄与するものと判断し、株式会社リンドスポーツの株式を取得（子会社）することといたしました。

(3) 企業結合日

2025年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	665百万円
取得原価		665百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 57百万円（概算）

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。